

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		保健総務課
	05	02	01	09	01	

政策
安全・安心な医療の提供

政策の内容

医療機関に対する監視指導の強化により、良質かつ適切な医療を提供する体制の確保を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
医療の充実	あなたの暮らしている地域では、安心してかかることができる医療機関(病院や薬局など)が充実していると感じますか。	3.54	3.54				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

病院については毎年、診療所については6年毎に立入検査を実施し、良質かつ適切な医療を提供する体制の確保を目指して取組を進めている。
立入検査の計画的な実施や指摘事項の改善率の向上が課題となっている。
計画的な立入検査と職員の資質向上など、監視指導体制の強化により、市民が安心して医療を受けられる環境を整える必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	71,359				
決算	57,296				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	21.2				
会計年度任用職員	6.2				
暫定再任用職員(31時間勤務)	2.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

※保健所浜北支所の人工を含む

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
保健所等維持管理運営事業	市民が安心して保健所を利用できるよう、保健所等庁舎及び付属設備の適切な維持管理を行っている。	44,041
		42,170
医療体制充実事業	病院・診療所の医事行政やドラッグストアなどの薬事行政を所管し、適正な医療提供体制を維持できるよう、定期的な立入検査などを実施している。	5,764
		4,513
骨髄ドナー等助成事業(補助金)	骨髄等移植の促進を図るため、ドナー及びその者が勤務する事業者に対し、骨髄提供のための日数に応じ助成金を交付している。	1,200
		280
保健総務デジタル運営経費	市民の利便性を向上させるため、各種業務のデジタル化の推進を行っている。	20,354
		10,333

※予算・決算は各事業に係る経費を計上



②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
立入検査実施率 (%)	年度計画に対する立入検査の実施率	定期立入検査を計画的に実施することにより、適正な医療体制維持に寄与できるため	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
立入検査による 指導結果の改善 率(%)	定期的な立入検査の結果を受け、指摘した件数のうち改善した割合	指摘項目改善率を把握することにより、適正な医療に対して事業者が取り組む姿勢を確認できるため	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	99.4	99.3				
			達成率	-	99%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
健康寿命 (歳)	○	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間	実績値	男性 73.70 女性 75.95 (2022 年度)	2027年 度確定					男性 75.24 女性 78.15
			達成率	男性 98% 女性 97%						
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

病気の発症や重症化を予防することにより、健康で自分らしく充実した生活を送っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
保健所等維持管理運営事業	・老朽化した施設・設備に対し適切に修繕や工事等を実施することにより、適正に維持・管理を行った。 ・各種保健統計調査を適正に行うことにより、厚生労働行政に必要な基礎資料を得ることができた。	保健所機能を適切に維持するため、施設修繕や適切な施設管理を行う。
医療体制充実事業	・医療機関へ配布する手続き案内書類を見直し、法改正等の周知を図った。 ・立入検査関係書類の見直しを行い、検査項目の重点化を図った。特に、指摘が多かった変更届の未提出や診療用放射線の安全利用のための指針の整備などについて徹底を図った。 ・調査担当職員の研修を実施し、検査内容の理解を深めた上で検査を実施した。	本年度の実施結果や今後国・県から示される重点事項等を踏まえた検査を行う。
骨髄ドナー等助成事業(補助金)	・静岡県の骨髄ドナー登録者数を増やすため、他県における取組み等について情報の収集及び分析を行った。 ・事業主(企業)を対象として直接的な周知を行うとともに、広報はままつや市公式SNSなどを活用し、幅広く周知を行った。 ・市民アンケート調査で助成制度の認知度を調査した。	継続して民間企業や庁内関係課と連携した周知を行い、骨髄ドナー登録数や助成制度の認知度の増加を目指す。
保健総務デジタル運営経費	・医事薬事台帳について、電子申請に対応した管理システムを導入し、情報管理の徹底及び事務の効率化を図った。	今後の国のDX推進の動向を注視し、新たな運用が発生した場合には、システムの運用について検討する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

4つの事業を実施したが、概ね計画通り実施することができた。なかでも、保健総務デジタル運営経費では、医事薬事台帳について、電子申請に対応した管理システムを導入したことにより、情報管理の徹底及び事務の効率化を図ることが出来た。立入検査では、研修により職員の検査能力の向上を図りながら、定期立入検査を計画的に実施することができ、実績値も100となった。また、立入検査による指導結果の改善については、改善率が99%と概ね計画通りの実績値となった。今後においても、管理システムを活用し、情報管理の徹底と事務の効率化を図っていくとともに、計画的な定期立入検査を実施し、安全・安心な医療の提供を行っていく。
